

# 出張！出前授業 Part2

入場無料

静岡県立大学の串田修先生をお迎えし、町で行った畜尿調査の結果から見えてきた、地域の塩分摂取の現状や、健康のために日々の食生活で出来る減塩の工夫についてお話しいたします。  
ぜひこの機会に、健康づくりについて一緒に考えてみませんか。

講師 静岡県立大学食品栄養科学部 栄養生命科学科  
食品栄養環境科学研究所 准教授

くしだ おさむ

串田 修氏



東伊豆の皆さんの健康を本気で考えてきました！

日時 令和8年4月28日(火)

14:00～15:00開催！(受付13:00～)

内容 講演・簡単ストレッチ&脳トレ

同日・同会場で開催！健康チェック！ 開催時間 13:00～13:45

体組成計 血圧測定 健康相談 ベジチェック 血管年齢測定

予約方法



①2次元  
コード▶

4月21日(火)までにお申し込みください。

②電話▶ 0557-22-2300 (東伊豆町保健福祉センター)

場所 奈良本区公民館  
(東伊豆町奈良本252-1)

健康マイレージ  
2ポイント進呈！

定員 40名程度(先着順)

対象者 健康づくりに興味関心のある方  
奈良本区の方、減塩に関心のある方

持ち物 水分補給できるもの・動きやすい服装

※畜尿調査に参加された方は調査結果をお持ちください

問い合わせ先：東伊豆町保健福祉センター 0557-22-2300

# 令和8年度 東伊豆町生涯学習講座 5月23日開講

## ふるさとの自然・細野高原を楽しむ【全4回】

東伊豆をふるさととする人、東伊豆を第二・第三のふるさととする人

ふるさとの自然・細野高原をネイチャーガイドとともに楽しんでみましょう！

講師 細野高原ネイチャーガイドクラブ 富永 眞弘 氏

開催日【第4回のみ火曜日の開催となります】

- ・第1回 5月23日(土)
- ・第2回 6月20日(土)
- ・第3回 10月3日(土)
- ・第4回 11月17日(火)

※雨天時は翌日の開催となります。

時間 9:00~12:00



集合場所 細野高原第1駐車場(イベント広場前)に9:00に集合【昨年度講座にて】

※「細野高原 秋のすすき鑑賞会」開催時は「第2細野高原駐車場」に集合

内容 毎回、その季節の草花を楽しむのに最適なコースを設定します

参加費 無料

定員 20名(超える場合には募集を打ち切らせていただきます)

持ち物 軽ハイキングの装備、履きなれたしっかりした靴、帽子、飲み物  
任意でストック、双眼鏡。

その他 3時間、4キロ程度の歩行ができる人。東伊豆町在住の方限定の講座です。

★お申し込みは令和8年5月15日(金)までです。

健康づくり課で実施している「健康マイレージ」の対象となります。

◎お問い合わせ・参加申込先◎

東伊豆町教育委員会事務局 社会教育係 TEL 0557-95-6206

# 鎌倉散策ウォーク

## 参加者募集！！

今年は、鎌倉にある高德院・海浜公園・鶴岡八幡宮を散策します。  
皆さんぜひご参加ください。

日 程：令和8年5月17日（日） 小雨決行

募集人員：25名【先着順】（小学5年生以上） ※東伊豆町在住の方

参加料：1人 4,000円（バス代等）

※高德院・鶴岡八幡宮での拝観料等につきましては、各自自己負担でお願いします。

なお、参加料につきましては、バス乗車時に徴収いたしますので、おつりのないようお願いします。

持ち物：お弁当、水筒、その他（当日の天候により、雨具や防寒着等）  
トレッキングシューズでの参加をお勧めします。

主 催：東伊豆町教育委員会・東伊豆町スポーツ推進委員会

**申込期間：令和8年4月8日（水）～5月8日（金）**

（定員を満たし次第締め切ります。）

**問い合わせ：東伊豆町教育委員会事務局社会教育係 電話 95-6206**

※お申し込みは電話連絡または、社会教育係の窓口での受付とさせていただきます。  
その際、住所・氏名・携帯電話番号・バス乗降場所（行程参照）をお聞きます。  
なお、当日中止となった場合は、電話連絡いたします。



裏面もご覧ください。

# 鎌倉食糧祭

！！集まるぞ！！

鎌倉市観光協会・鎌倉市観光協会・鎌倉市観光協会・鎌倉市観光協会



## 行程（予定）

※バス乗降場所 ①～⑤

①6:30 ②6:40 ③6:45 ④6:50  
 役場正面玄関発 == 保健福祉センター == 農協熱川支店 == 北川バス停

⑤6:55 8:40 9:30  
 大川二度山前 == 西湘PA（休憩） == 高德院着（大仏） == 注意事項等

9:40 10:40 11:05  
 高德院散策（60分） = 高德院出発 == 鎌倉海浜公園着 == 昼食（40分）  
 （約1.4km 徒歩25分）

11:45 12:25 12:30  
 鎌倉海浜公園発 == 鶴岡八幡宮着 == 鶴岡八幡宮散策（90分）  
 （約2km 徒歩40分）

14:00 17:00頃  
 鶴岡八幡宮発 == 途中休憩 == 各降車場所 == 役場到着

写真提供：鎌倉市観光協会

# 春の全国交通安全運動

4月6日(月)から4月15日(水)の10日間

## 運動の重点

- 1 通学路・生活道路におけるこどもを始めとする歩行者の安全確保
- 2 「ながらスマホ」の根絶や歩行者優先等の安全運転意識の向上
- 3 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底
- 4 歩行者・運転者の交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践の徹底



## ！ 歩き慣れない子どもに注意！



新年度に入り、通学・通園に不慣れな子どもが道路を利用します。  
歩いている子どもを見かけたときには、急な飛び出しに十分注意し、いつもよりスピードは控えるために、安全運転に努めましょう！

令和8年4月1日から

自転車にも青切符が適用されます！

16歳以上  
対象

悪質・危険な違反が取締りの対象となります！

【対象となる反則行為一例】

携帯電話使用等  
(保持)  
反則金  
**12,000円**

信号無視  
反則金  
**6,000円**

指定場所  
一時不停止等  
反則金  
**5,000円**

詳細は

警察庁 自転車 交通安全

検索

自転車に乗る際は必ず  
ヘルメットを着用しましょう！



交通安全協会下田地区支部・下田地区安全運転管理協会・東伊豆町





# コミュニティ しずおか

2026  
4月  
No.182



## Topics トピックス

### 富士山の未来をその手に!

NPO法人富士山ホシガラスの会 (御殿場市)

▼NPO法人富士山ホシガラスの会は「富士山の自然環境の保全と環境教育の充実」を目指している団体。富士山で森を学び、親しみ、守りながら未来の子どもたちに残すため、これまで自然環境調査や教員のための環境教育テキストの作成、ボーイスカウトとの鹿食害防止ネット掛け、子どもたちへの啓蒙活動を行ってきた。

▼高齢化による会員の減少、コロナ禍での活動の停滞、活動費不足等の課題もなんのその! 森を再生する鳥として知られるホシガラスのように、その活動はゆっくりではあるが確実に成果が現れている。

◇代表: 菅 常雄さん (問合せ・0550-73-0434(勝又事務局長))

【情報提供・勝又長生】



HP

クローズアップ ..... P2~3  
用宗をもっと楽しく、もっと明るく(静岡市)  
ようこそコミュニティ ..... P6  
有志15名が挑む、朝比奈和紙復活へ(藤枝市)



リミック  
のびきりえ



創意工夫や新しい手法を活かしている団体を紹介します。



左と右上：海辺の豆まき「もちまめ」を開催 右下：城山中学校梅まつりで竹灯籠づくり体験 中央：用宗汐風クラブさんの活動をお手伝い

## 用宗をもっと楽しく、もっと明るく

～用宗を楽しくする会の軌跡～

### 用宗を楽しくする会

静岡市

駿河区の西南に位置する小さな港町「用宗」。近年オシャレなお店が増え若い世代にも注目されています。その用宗を中心としたエリア（長田南学区）の地域振興を図る「用宗を楽しくする会」事務局の小野田さんと広報担当の島さんに話を聞きました。

#### 発足の原点は「まちを思う気持ち」

2015年、用宗で深刻化する空き家の増加や過疎化に危機感を抱いた地元の商店主らを中心に、30人の有志が集まり「若い力でまちを元気にしたい」と立ち上がったのが始まりです。

若者の視点をまちづくりに生かすため、市内3大学

の合同サークル「プレイタンク」に協力を依頼。大学生たちに夏の1か月間、用宗で合宿生活を送ってもらい、地域の魅力や課題について意見を求めました。

1か月後、大学生からは「まちが暗い」「カフェがない」「人が集まる場所がない」といった若者らしい率直な意見が並びました。これらの意見を形にしようと「用宗を楽しくする会」が発足しました。

#### 多様な人が集まる「若い」コミュニティ

「楽しいと思ったらやる」「できる方法を考える」をモットーに活動を展開。この思いに共感した人々が地域の枠を超えて自発的に参加。経営者、議員、農

家、学生、飲食関係者、音楽講師、主婦、地域おこし協力隊など多才な人材で構成されています。約40人いる会員の平均年齢は50代と地域団体としては若く、子ども向け事業をきっかけに参加する会社員や主婦も増えています。現在は、コアメンバー約15人が中心となって企画運営を担っています。

また、主催事業だけでなく、長田南学区の地域行事や会員が主催するイベントを“応援部隊”として支える仕組みも特徴で、地域にとって心強い存在です。活動費は主催事業での出店料や他団体イベントへの協力による売上、助成金等で賄っています。

## イベントが生む、地域の新たな魅力

子ども対象の「豆まき」や、用宗のPRと活気創出を目的とした「なぎさ市」などの定番事業に加え、コロナ禍には商店を応援する「おさだDEさんぽ」を実施。昨年は旧用宗駅舎を3Dデジタルで記録するプロジェクトでクラウドファンディングに挑戦するなど、毎月の定例会で多彩な企画が生まれています。

2018年に始まった「竹灯籠プロジェクト」では、放置竹林事業の助成金を活用し、製作した約200本の竹灯籠を津波避難タワーに設置。温かな明かりを灯すことで、住民がタワーに登る機会を創出しました。「命を救う場所」であると同時に、どこかマイナスのイメージもあったタワーを、地域の新たな魅力へと変貌させたのです。

今でこそ地域に認められた存在ですが、当初は活動の許可が下りないなどの苦労もありました。しかし、3~4年と活動を続けるうちに周囲の反応が変わり、今では「盛り上げてくれてありがとう」と言われる存在になりました。

## 持続可能な活動を目指して

活動が広まるにつれ協賛依頼も増加し、地域の期待に応える中で、コアメンバーの負担増という課題も浮き彫りになっています。今後、長く活動を続けていくためには、活動内容の整理や若い世代が参画しやすい入口づくりが必要です。

今後の展望について、小野田さんは「美術や芸術を取り入れた『まちごと展示場』のような文化イベントにも挑戦したい」と意欲を見せます。



用宗漁港を照らす津波避難タワー

また、島さんは「イベントには騒音や渋滞、ゴミ問題がつきもの。来場者が楽しいだけでなく、地域にもメリットがあり、住民に喜んでもらえる形を追求していきたい」と用宗の魅力をもっと高めるイベントを模索しながら地域との共生を見据えています。



左から島さん、小野田さん



HP

◇代表:海野雄介さん

(問合せ・enjoy.mochimune@gmail.com)

【情報提供・近藤 武】



レポート:鈴木久雄 編集委員



# まちからむらから



## 伊東市 歌や寸劇、コントを出前しています!

チーム島田



歌あり芝居あり、会場を盛り上げます

▶伊東市内全域へ、音楽と笑いを出前する「チーム島田」。令和2年、所属している市民劇団の有志で、ラジオ劇の製作を始めたのがきっかけとなり、「チーム島田」が発足。30代から70代の8人が、高齢者施設や子どもグループの元へ気さくに駆けつけている。

▶最大の魅力は、対象者に寄り添った変幻自在のプログラム。懐かしの歌を歌う生演奏や、拍手喝采を浴びる女装での「さそり座の女」、伊東の昔話を紡ぐ寸劇など、多彩な演出で観客を魅了。また、詐欺防止や野良猫対策といった時事問題を、笑いの中にも教訓を込めたコントで届ける地域貢献も忘れない。

▶「試行錯誤の結果、皆さんの笑顔が見たくて、伊東の昔話以外のネタがどんどん増えました」と島田代表。世代を超えたメンバーが阿吽の呼吸で創り出すステージは、観る人に活力と安心感を与えている。お呼びがあればどこへでも心の栄養を届ける、伊東が誇るエンターテイナー集団である。

◇代表: 島田須可子さん(問合せ・090-4150-8026)

【情報提供・佐藤みつ子】

静岡市清水区

## 600人を笑顔にした『冬のきもだめし』

NPO法人PTA  
&Coぴったんこ

▶去る12月6日、静岡市PTA連絡協議会との協働イベント「きもだめしin船越堤公園」が開催され、600人の親子が上げる歓声に包まれた。この「きもだめし」を企画運営したのが「NPO法人PTA&Coぴったんこ」である。

▶募集開始わずか1週間で500名の枠が埋まるという異例の反響を呼んだこのイベントには、地元の中学生在が「運営スタッフ」として活躍。演出制作から当日のスタッフまで、大人と共に取り組んでくれた。また、出展ブースには、キッチンカーの他、部活動の地域移行を見据え、スポーツ団体紹介ブースを設置し広報活動の場を提供した。

▶「ぴったんこ」は、清水二中学区のPTA役員経験者を中心に2023年に発足した団体で、平均年齢48歳のメンバー11人が、PTA支援や地域のイベントを通じて「子育て世帯の笑顔」を増やすために活動している。この一歩が地域の未来を明るく変えると信じ、今後も活動を続けていく。

◇代表: 佐々木光太郎さん(問合せ・090-8347-9138)



看板制作する中学生スタッフ



## 御前崎市 「うたごえ」が届ける活力の処方箋

うたごえ



声を出し心身のリフレッシュ

▼会員30人程からなる「うたごえ」は、歌を通じて健康で活力ある老後を目指す団体。月1回、合戸公民館に集まり、会員手製の150曲以上ある歌集の中から、リクエストされた曲をピアノの生演奏に合わせて歌っている。

▶2011年に、合戸地区で前身となる童謡唱歌を歌う「ひばり会」が発足。一時は50人程が在籍していたが、コロナ禍や高齢化により会員が激減し、存続の危機に直面。そこで地域外にも広く門戸を開き、歌のジャンルも拡充し現在の「うたごえ」へと形を変え、活気を取り戻した。

▶活動の魅力は合唱だけではなく。伴奏者の岡田憲二氏による美しいピアノ演奏の鑑賞や、終了時に行う参加者の感想発表も大切なひと時。大きな声の人、小さな声の人、各々が無理のないスタイルで声を出し、心身をリフレッシュ!参加者の帰り際の笑顔が会の充実ぶりを物語っている。今後も歌を通じた温かな交流と、健康づくりの輪を広げていく。

※一緒に歌ってみませんか。

◇世話人: 藤原雪江さん(問合せ・0537-86-4740)

【情報提供・沖 二三男】



菊川市

## 菊駅祭「通る」から「つながる」駅へ

NPO法人  
アートコラールきくがわ



HP

ミーティングの1コマ、リモートでプレゼン中

▶明治22年の開業から137年。JR菊川駅に待望の南北自由通路が誕生する。この歴史的節目を記念し、新設通路と南北広場を会場に「菊駅祭」を3月28日に開催した。

▶本イベントは、駅を「通る場所」から「立ち寄り、つながる場所」へと広げる挑戦として、学生、市民活動団体、企業、行政が協働し進めてきた、駅周辺賑わい創出プロジェクト「きくプラ」の取り組みである。南北自由通路を“自由な自己表現の場”と位置づけ、世代を超えて楽しめる回遊型の内容とした。常葉大学附属菊川高等学校美術・デザイン科とJR菊川駅が連携し、市民から寄せられた駅への思いや未来へのメッセージを空間演出として展開した。

▶当日は駅構内ステージや南北広場でのマルシェ、スタンプラリーも実施し、通路を歩き交う中で交流が生まれる仕掛けとした。開通を契機に、駅を核とした市民参加型のまちづくりへの関心が高まり、地域の新たなつながりが育まれる一日となった。

◇代表: 笠原活世さん(問合せ・0537-35-2220(センター))

【情報提供・松村真衣】

湖西市

## 大人のカ、子どもの夢 ビオトープ再生

湖西フロンティア  
倶楽部

▶1992年に発足した「湖西フロンティア倶楽部」は、現在、平均年齢65歳の精鋭33人が「おちばの里親水公園」を拠点に、次世代へ豊かな自然を繋ぐ「開拓者」として活動している。

▶地元の知波田小学校とかかわりも深く、子どもたちに自然と触れ合う場として、ビオトープを造成。去る1月には、子どもたちと一緒に完成から24年が経ち老朽化したビオトープの補修作業を行った。

当日は、6年生26人と大人8人で腐食した枕木橋の架け替えや外来種の徹底除去、水質浄化用の風呂桶清掃、柳の枝払い等を行った。子どもたちからは「大人のカが入ることで、自分たちでは難しかった整備が出来て本当に良かった」と感想があり、泥を浴びながらも達成感を味わっていた。

▶豊富な経験を「教える・支える」カに変え、子どもたちに「地域の守り手」としての背中を見せる姿は、地域コミュニティの理想形。これからも、湖西の自然と子どもたちの笑顔を全力で守り続けていく。

◇代表: 飯田康仁さん(問合せ・kosaifront@yahoo.co.jp)【情報提供・片山愛司】



HP

ビオトープ再生を手伝う6年生

### 地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます(アドレス <http://www.sizcom.jp>)



No.	市町	活動名	主催者	趣旨・目的	情報通信員
1	沼津市	続報! 長野と沼津の大岡地区の交流に子どもたちが来た	大岡コミュニティ推進委員会	長野と沼津にある「大岡地区」の交流	木村優子
2	藤枝市	絵本や紙芝居を楽しもう	おはなしメリーゴーランド	高齢者の方にも絵本や紙芝居の世界を楽しんでもらいたい	浅田恭子
3	掛川市	環境美化と地域のふれあい	田ヶ池公園環境保全会	環境美化と地域のふれあい	安藤ミエ
4	磐田市	市の文化ゾーンを核に「賑わい創出」する	磐田市文化ゾーン活性化ラボ	文化ゾーンを核に、市民協働で地域の魅力発信と活性化を進める	安部詠司

# ようこそ コミュニティ

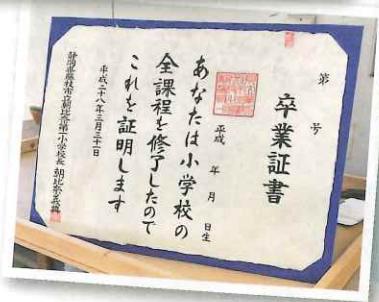
発足間もない団体を紹介します。



慎重な面持ちで  
木枠から和紙を  
持ち上げる



コウゾの  
皮はぎをする  
会員



紙すき後、压榨、  
板干し、乾燥を経て  
出来上がり

## 有志15名が挑む、朝比奈和紙復活へ

### 朝比奈和紙の会（藤枝市）

#### 自立に向けた課題と、未来への想い

今後は、これまでに得た知識や経験を活かして普及・継承活動を主体的に行っていきます。今年2月には、これまで購入していた材料の自給自足を目指し、地元の荒廃農地を整備してコウゾ10本、ミツマタ40本を植樹しました。

前保存会から引き継いだ道具の改良や原材料づくりと紙漉きの更なる技術の習得、機材と作業工房の確保、財源の確保など、自立に向けた課題はたくさんあります。しかし、村越会長は「趣味的な気楽さを持ちつつ楽しみながら後世に伝えていきたいですね。技術が上がったら工芸品の製作もできたら」と、気負いのない笑顔を見せます。行政の立場で伴走してきた梅原さんも、地域の結束力の強さに期待を寄せています。

手探りながらも着実に歩みを進める「朝比奈和紙の会」の挑戦は、まだ始まったばかり。「朝比奈玉露」「朝比奈大龍勢」「朝比奈粽」と並ぶ地域の誇りとして、この伝統を途絶えることなく伝えていっていただきたいと感じました。



左から梅原さん、遠藤さん、村越さん、内藤さん

◇代表：村越金敬さん（問合せ・080-1578-8675）  
【情報提供・梅原 仁】

／お邪魔します／



藤枝市岡部町朝比奈地区は、古くから伝承されている伝統文化や産業があります。その一つ、朝比奈和紙の2度目の復活を目指して奮闘中の「朝比奈和紙の会」の代表村越さん、藤枝市岡部支所職員の遠藤さん、内藤さん、梅原さん、にお話を聞きました。

#### 朝比奈和紙の歴史

今から350年前、江戸時代から農家の副業として盛んに行われていた和紙づくりも、洋紙の普及によりその技術が途絶えました。地域の伝統産業を後世に残そうと平成8年に地元住民の有志で「朝比奈和紙づくり保存会」が発足されました。主な活動として、朝比奈第一小学校の6年生が、自らが漉いた和紙で卒業証書を作るという素晴らしい取り組みを長年続けてきましたが、令和2年、会員の高齢化により再び休止となりました。

#### 令和の再始動!

朝比奈在住の村越さんは、地域の先輩方が繋いできた伝統を継続できないかと岡部支所の梅原さんらに相談。これをきっかけに、令和4年、生涯学習講座「手漉き和紙体験講座」として再始動しました。材料の手配や技術の習得にあたっては、かつて交流のあった静岡市郷島の「郷島冷泉和紙同好会ゆうしん舎」に依頼。時には郷島に通い、材料のコウゾの皮剥ぎから、煮熟（しやじゅく）、紙漉き、压榨、板干し、乾燥といった、時間と手間のかかる全工程を学びました。

こうした中で、ゆうしん舎の指導による子どもたちの卒業証書づくりが復活。活動は少しずつ地域に浸透していきました。3年間の講座が一区切りついたところで、令和7年9月、受講生を主体に声を掛け、会員15人（男性12人、女性3人）で「朝比奈和紙の会」が正式発足。同年12月には、ゆうしん舎の指導のもと、6年生の卒業証書づくりに会員が補助員として参加し、伝統を伝える温かい光景が戻ってきました。

レポート：鈴木千春 編集委員

# コミュニティ・フォーラム2026を開催しました

## 今こそつながる地域コミュニティで 輝くこれからの拓く



本年度は2月7日（土）に島田市のプラザおおりのりで開催。コミュニティの弱体化、自助・共助に対する意識の希薄化などの社会の変化の中で、地域コミュニティのこれからについて、参加者と共に考え、地域コミュニティに求められる役割を再認識し行動を起こすきっかけにしようとして「今こそつながる地域コミュニティで輝くこれからの拓く」をテーマに開催。島田市の染谷市長、静岡県総務部の露木参事、コミカレ・ねっとわーくの藤田会長にご臨席いただき、県内各地から203人の参加がありました。



### 令和7年度コミュニティ活動賞 表彰

優秀賞3団体、優良賞6団体が表彰されました。優秀賞の団体は、事例発表で、活動紹介をしていただきました。



### パネルディスカッション

当協議会推進専門委員の平田先生がコーディネーターとなり、島田市六合コミュニティ委員会会長河村氏、清水岡地区堂林自治会IT委員の齋藤氏、向笠地域づくり協議会向笠PR部鈴木氏から活動のやりがい、楽しさなどを語っていただきました。



### 基調講演

茨城県生涯学習・社会教育研究会会長長谷川幸介先生から「人間の力を諦めないコミュニティは安心の「幸せ保険」と題して講演いただきました。

島田市、県、中部コミねっとから  
スタッフとして参加して下さった  
皆様！ありがとうございました。



### 常務のつ・ぶ・や・き

目まぐるしく、1年が過ぎていった。私自身、これまで3回つぶやいてきたが、人と人の縁は改めて不思議なものだと思う。私がコミュニティづくり推進協議会に入ったのも、なにかしらの縁があつてのことだと思う。そこで、今まで会ったことが無かった人たちと出会い、新たな親交・交流がはじまっている。この縁を大切にしなければならない。

この4月、コミュニティづくり推進協議会の会長が交代した。これも一つの縁である。これまでの会長の伊藤嘉奈子様、ご苦労様でした。そして、ありがとうございました。新たに会長に就任した、高木敦子様、よろしくお願ひします。潤いと活力ある地域づくりを進めていきましょう。

これからも、人と人の縁を大切にしていきたい。

# コミン家

のりづき、りえは



地域情報をお寄せ下さい!

## 静岡県コミュニティづくり推進協議会

〒420-0856

静岡市葵区駿府町1-70 総合社会福祉会館3階

【TEL】054-251-3585

【FAX】054-250-8681

【URL】<http://www.sizcom.jp>

【E-mail】[sizucom0829@po.across.or.jp](mailto:sizucom0829@po.across.or.jp)



地域活動に関心のある方へ!

## 募集します

※お問い合わせ、お申し込みは当協議会へ

活動資金の一部を助成します!

### ★コミュニティ活動集団育成事業

#### 趣旨

この事業は、人々が協力し合って住みよい地域をつくるために活動する集団を「コミュニティ活動集団」として2年間指定し、活動に必要な経費の一部を助成することによって、地域の先導的役割を担う活動集団の育成支援を行うものです。

**指定の期間** 毎年度4月から次年度3月までの2年間とします。

**活動経費の助成** 募集集団数10集団。活動経費として1集団当たり、初年度7万円、翌年度3万円を助成します。

**活動集団の指定** 申込みに対してその内容を審査し指定します。

**募集期間** 4月中旬～6月15日(月)



指定決定した団体には、より良い活動となるよう専門委員からのアドバイスが受けられます。



### コミュニティ活動のスキルを学ぼう

#### ★コミュニティ・カレッジ開催します

コミュニティづくりの大切さ、地域での話し合いの進め方などコミュニティ活動を進める上で必要なスキルや知識を学ぶ講座です。本年度は5月～7月に開催。地域コミュニティに興味のある方、一緒に学びましょう。※詳細はHPをご覧ください。

5/16(土)	講座「コミュニティの基礎を学ぶ」 静岡福祉文化実践研究所長 平田 厚氏	静岡県総合社会福祉会館 (シズウェル) 葵区駿府町1-70
6月中	講座「地域活動で豊かな人生を」 (一社) SACLABO代表理事 渡村マイ氏	
7/4(土)	演習「ファシリテーション講座」 有限会社タイキなくらし代表取締役 鈴木まり子氏	

## 令和8年4月1日から 自転車の交通違反に青切符導入!!

自転車の交通違反に「青切符」が導入され、反則金が料される制度が始まります。自転車の交通事故が増えています。交通ルールを守って安全運転をしましょう。

#### 対象

16歳以上

#### 自転車の主な違反と反則金

携帯電話使用等(保持) 12,000円  
遮断踏切立入り 7,000円  
自転車制動装置不良 5,000円



【問い合わせ先】静岡県くらし交通安全課

<電話>054(221)2104

<メール>[kurashi-kotsu@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:kurashi-kotsu@pref.shizuoka.lg.jp)

交通安全情報等を発信中  
(しずおか交通安全心ネット  
外部リンク)



第2回 癒しのくつろぎコンサート in 下田

# 音楽と巡る

各国の名曲で音楽の世界旅行へご案内します

# 世界旅行



ヴァイオリン  
松村 宏樹  
(下田市出身)

ピアノ  
青木 智哉

2026.5.23 Sat.

13:30 開場 | 14:00 開演 (15:40 終演予定)

下田市民文化会館 小ホール

静岡県下田市四丁目1-2

※駐車スペースには限りがございますので、満車の際はご了承ください。

チケット 3/12 (木)発売 ※未就学児入場不可

高校生以下 1,000円 / 大人 2,500円 (当日+500円)

プレイガイド・お問い合わせ

○下田市民文化会館

電話 0558-23-5151

メール ss-hall@vmail.plala.or.jp

○チケットぴあ

Pコード 321-192 (3月12日発売)

同日開催!  
0歳からの  
コンサート

🇯🇵 葉加瀬太郎  
アナザースカイ

🇮🇹 ナポリ民謡  
サンタルチア

🇫🇷 サティ  
ジュ・トゥ・ヴ

🇩🇪 モーツァルト  
アイネクライネ・ナハトムジーク

🇺🇸 映画「ニューヨーク・ニューヨーク」より  
ニューヨーク・ニューヨーク

🇯🇵 大河ドラマメドレー  
～新撰組!・篤姫・真田丸～

主催：公益財団法人下田市振興公社

後援：下田有線テレビ放送株式会社

制作：LIME Spark プロジェクト実行委員会

ヴァイオリン  
松村宏樹まつむらひろき  
ピアノ  
青木智哉あおきともや

# わくわく 名曲コンサート

for BABY and KIDS!

大人気！  
リクエストコーナーも  
あるよ！

みんなで  
踊ろう！

いつ 2026年5月23日 土

10:20 オープン / 10:45 はじまり / 11:30 おわり

どこ 下田市民文化会館 小ホール

静岡県下田市四丁目1-2

※駐車スペースには限りがございますので、満車の際はご了承ください

チケット	3歳未満	無料	(ひざうえ)
(自由席)	高校生以下	500円	当日+500円
3/12(木)発売	おとな	1,500円	当日+500円

バイオリン  
ひろき  
おにいさん

ピアノ  
ともや  
おにいさん

どんぐりころころ

アイアイ

虹 (菅田将暉)

おもちゃのチャチャチャ

ぼよん行進曲

ほか

出演者

バイオリン 松村 宏樹

下田出身

ピアノ 青木 智哉

プレイガイド・お問い合わせ

下田市民文化会館

電話 0558-23-5151

所在地 静岡県下田市四丁目1-2

メール ss-hall@vmail.plala.or.jp

【チケットぴあ/Pコード：321-190 (発売日：3月12日)】



同日開催  
音楽旅行  
コンサート

※プログラムは変更となる  
可能性があります

主催：公益財団法人下田市振興公社

後援：下田有線テレビ放送株式会社

制作：LIME Spark プロジェクト実行委員会

# 2026年度 障害のある人のための 就労相談会

日時：毎月第3火曜日 10:00~12:00

場所：東伊豆町役場

4/21    5/19    6/16    7/21  
8/18    9/15    10/20    11/17  
12/15    1/19    2/16    3/16

障害のある人の就職・生活面での相談

障害者手帳をお持ちでない方の相談にも応じます

障害のある人たちを雇用する事業主の方の相談

これから雇用を検討している事業所の方の相談も

- ・ 仕事を探している    ・ 経済的に不安がある
- ・ 職場の人間関係がうまくいかない    ・ 引きこもりがちになっている
- ・ 福祉制度のことについて    ・ 障害者手帳について知りたい など…

お問い合わせ

連絡先

賀茂障害者就業・生活支援センター わ

〒415-0035 下田市東本郷 1-7-21

TEL/FAX 0558-22-5715 E-mail: fusement@cy.tnc.ne.jp

今月の東伊豆情報をダイロクセレクトでお届けします

発行元：合同会社 so-an

所在地：静岡県賀茂郡東伊豆町 348-2 ダイロクキッチン



活動報告

地域おこし協力隊  
活動報告会レポート

東伊豆町保健センターにて、令和7年度第2回となる「東伊豆町地域おこし協力隊活動報告会」を開催しました。当日は、熊谷さん、柳瀬さん、北嶋さん、岡田さん、鈴木さんの5名が、それぞれのミッションや今年度の取組、活動を通じて見えてきた成果や今後の展望について発表しました。また、新たに着任した宮本さん、立本さんからも自己紹介が行われ、現在の活動テーマやこれから取り組んでいきたい方向性が共有されました。

活動報告では、細野高原利活用、よりみち135活用、観光、雛の吊るし飾り文化継承、健康づくり、といった、協力隊それぞれが異なる分野で地域と関わっていることが改めて伝えられました。トークセッションでは、東伊豆町における地域おこし協力隊制度導入に関わった竹内理恵氏を迎え、制度導入の背景や、地域と協力隊がどのようにに関わることで力を発揮できるのかについて意見交換を行いました。

参加者アンケートでは、「それぞれの活動内容がよく分かった」「前回よりも具体的な話が多く理解しやすかった」「隊員の思いや人柄が伝わった」といった声が寄せられ、協力隊への理解促進と関係形成の面で手応えのある機会となりました。

▼ 予約状況・イベント情報をお知らせ！ダイロクカレンダー 4月 ▼

月	火	水	木	金	土	日
		1 🍴	2 🍴	3 🍴 オフィス ダイロク 13:00-16:00	4 🍴	5 🍴
6 🍴	7 🍴	8 🍴	9 🍴	10 🍴 オフィス ダイロク 13:00-16:00	11 🍴	12 🍴
13 🍴	14 🍴	15 🍴	16 🍴	17 🍴 オフィス ダイロク 13:00-16:00	18 🍴	19 🍴
20 🍴	21 🍴	22 🍴	23 🍴	24 🍴 オフィス ダイロク 13:00-16:00	25 🍴	26 🍴
27 🍴	28 🍴	29 🍴	30 🍴			

■ 字の日はオープン日  
■ 字の日は別施設イベント日  
■ 印の日はレンタル可能日



今月の注目イベントはこれ！

【オフィスダイロク】  
初心に帰るべく、ダイロクキッチンをおフィスに荒武がゆるくお仕事をする。昔は毎日いたのに最近見ないな、というそのあな、ぜひお気軽にお立ち寄りください。またトイレ故障のため、ご不便おかけします。ご了承ください。4月中には工事完了の見込みですので5月からの営業をお楽しみにお待ちしております！

「今月の一言」  
荒武優希

この町に移住して10年が経ちました！多くの挑戦を応援いただき、たくさん失敗し、どんこんになりながら全力疾走した10年でした。今月はしっかりこれまでを振り返ってこれからの10年を同様に駆け抜けるための構想を練りたいと思います。またダイロクキッチンはトイレが故障してしまったので今月のカフェ出店はお休みとなります。ご注意ください。

ダイロクキッチン 検索  
SNSも更新中！  
050-8885-5698  
info@so-an.co.jp

### みんなの 東伊豆 設計室

「ここにみんなの居場所がほしい！」  
 「この坂道の途中にベンチがほしい！」  
 などの住民の方々のご意見をいただき  
 私たちも汗を流していききたいのです！  
 この枠では、毎月の試行錯誤を  
 お届けしてまいります！

「空き家改修プロジェクト  
**東伊豆設計室**」です！  
 ダイロク通信の著者・荒武さんの  
 の後輩にあたる芝浦工業大学の  
 大学生です。  
 長い間、東伊豆町にお世話に  
 なっています、  
 「町民の方々に何をしているか  
 伝わっていないのかも？」と  
 という疑問が生まれ、1枠お借り  
 する流れとなりました。もっともっと、

こんなベンチに  
 あんなベンチ。  
 そしてこの新聞の  
 「ダイロクキッチン」。  
 何かと見覚えのあるあれこれ  
 実はツナギ姿の学生たちが  
 改修したり、新しくつくったり  
 しています！  
 私たち、もうかれこれ  
 13年目を迎える



ツナギの色  
 3年生：●  
 2年生：●  
 1年生：??  
 Instagram



↑稲取漁港付近



↑町役場前

#### 活動報告

##### 稲取高校・大学生 東伊豆学生サミット

静岡県立稲取高等学校にて  
 「東伊豆学生サミット2026」を開催しました。  
 本企画は、東伊豆町をフィールドに活動する大学生と、地域を学ぶ高校生が一堂に会し、それぞれの実践や想いを共有することを目的に実施しています。  
 当日は、稲取高校の1・2年生に加え、東伊豆町内外で活動する大学生団体が参加しました。大学生からは、地域を舞台にしたこれまでの実践や、活動を続ける中で感じてきた課題といった話題が共有されました。  
 トークセッションでは、「活動の引き継ぎをどのように工夫しているか」という質問が挙がり、「できるだけ記録を残すこと」「関係者の写真や連絡先を活動時の注意点を整理した資料をつくること」「先輩と一緒に活動する中で想いを伝えていくこと」など、実践に基づいた具体的な工夫が紹介されました。  
 東伊豆学生サミットは、地域で学ぶ高校生、活動する大学生にとって有意義な場として機能していることを再認識することができました。東伊豆町における学びと実践をつなぐ新たな接点として、今後も継続し新たな広がりを作っていきたいと思っております。



#### 活動報告

##### 成立学園高校 フィールドワーク

東京都北区にある私立成立学園高校の生徒さんたちが、今年も3日間東伊豆町に滞在しました。  
 今年は2年生30人、1年生11人の合計41人の大所帯。彼らにとつての非日常な体験を様々な方のご協力を受けて提供しました。  
 1日目はオリジナルまちあるきマップを持って私たちの運営する拠点をウォークラリー、町の歴史や産業構造について学んでもらうことができたレクリエーションを体験してもらいました。  
 2日目はフィールドワークということで、郷土文化、地域福祉、ジオパーク、アート、新規開業、観光の6テーマにグループを分けて体験やインタビュー。地域の状況を1日目よりも深く学んでいただきました。  
 3日目には、これまでに学んで、体験したことを整理。それぞれのテーマに対して、直面している課題を洗い出し、課題解決に向けた提案を検討してもらいました。  
 首都圏で生活する彼らからすると、前提条件が様々な異なる東伊豆町。この構図に新しい可能性を感じて



稲取の東区にある路地裏の小さな菓子屋店主の日常をお届け！  
 旧稲取幼稚園を改修して生まれ変わった「よりみち135」のプレオープンイベントに参加してきました。  
 幼稚園だったかつての面影も残りつつ新しくも居心地がいい空間で、まさに多世代が憩うことのできる場所になっています。  
 暮らしている町に新しい場所ができるというニュースはやはり地域を明るくするなと感じます。この時代を生きる私たちが大切に育んでいけるといいなと思いました。  
 ◎すみん cafe  
 店主の産休により、しばらくお休みをいただくことになりました。

こほりほえむ  
すみん

よりみち135  
オープン間近！

